

平成22年12月定例記者会見資料

と き 平成22年12月7日 (火)
12:00 ~
と ころ 401号会議室

事 項

- | | | |
|---|----------------------------|---|
| 1 | 平成22年12月氷見市議会定例会補正予算(案)の概要 | 1 |
| 2 | 市民意識調査結果概要 | 4 |
| 3 | 上庄保育園の竣工式について | 5 |
| 4 | 平成22年12月～平成23年1月の主な行事予定 | 7 |

出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、市民部長、建設部長、
産業部長、防災・危機管理監、教育次長、消防長、財務課長、
企画広報室長

平成22年12月氷見市議会定例会補正予算（案）の概要

◆一般会計補正予算（第3号）

＜歳入＞		単位：千円
分 担 金 及 び 負 担 金		81
国 庫 支 出 金		187,194
県 支 出 金		50,650
寄 附 金		2,430
繰 入 金		11,367
繰 越 金		90,083
市 債		145,700
計		487,505
累 計		21,956,197

<歳出>

単位：千円

事業名	補正予算額	担当課
国の補正予算に伴う事業（社会資本整備総合交付金関連）	117,571	
道路舗装補修事業費	15,000	建設課
市道下田子海老坂線雪寒対策事業費	5,951	建設課
社会資本整備総合交付金道路改良事業費	9,560	建設課
市道氷見北インター線道路改良事業費	35,960	建設課
市道柳田西15号線道路改良事業費<<新規>>	41,100	建設課
橋りょう長寿命化修繕計画策定事業費	10,000	建設課
国の予備費活用に伴う事業（雇用関連）	7,708	
氷見の魅力発信事業費（重点分野雇用）	1,408	企画広報室
若者就業チャレンジ事業費（重点分野雇用）	6,300	商工観光課
その他の事業	362,226	
ふるさとづくり基金積立金	920	企画広報室
地上デジタル放送相談窓口設置事業費（緊急雇用創出事業）	461	企画広報室
住民情報等照合事業費（緊急雇用創出事業）	535	企画広報室
職員給与費	△ 40,317	総務課
社会福祉事業振興基金積立金	170	福祉課
富山型デイサービス施設支援事業費<<新規>>	4,000	健康課
予防接種事業費	7,347	健康課
インフルエンザ予防接種事業費	6,545	健康課
現年農地施設災害復旧事業費	65,011	建設課
定住促進住宅団地造成事業費補助金	2,537	都市計画課
浄化槽設置整備事業費	14,803	上下水道課
浄化槽整備推進モデル地区事業費	13,889	上下水道課
歴史と文化が薫るまちづくり事業費	3,653	商工観光課
観光地域リニューアル支援事業費<<新規>>	200	商工観光課
教育文化振興基金積立金	1,340	学校教育課
南部中学校改築事業費	197,466	学校教育課
文化財環境整備事業費（緊急雇用創出事業）	353	生涯学習課
その他	83,313	
計	487,505	
累 計	21,956,197	

◆水道事業会計補正予算（第2号）	単位：千円	上下水道課
収益の収入	173	
収益の支出	1,230	
資本の支出	△ 2,488	
◆病院事業会計補正予算（第1号）	単位：千円	病院事業管理室
収益の収入	△ 3,518	
収益の支出	△ 3,535	
資本の収入	△ 2,200	
資本の支出	△ 2,183	
◆国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	単位：千円	市民課
歳入	162,403	
歳出	162,403	
◆下水道特別会計補正予算（第3号）	単位：千円	上下水道課
歳入	△ 2,249	
歳出	△ 2,249	
◆老人保健医療事業特別会計補正予算（第2号）	単位：千円	市民課
歳入	△ 1,000	
歳出	△ 1,000	
◆介護保険特別会計補正予算（第2号）	単位：千円	健康課
◎保険事業勘定		
歳入	3,710	
歳出	3,710	
◎介護サービス事業勘定		
歳入	△ 149	
歳出	△ 149	
◆後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	単位：千円	市民課
歳入	△ 1,920	
歳出	△ 1,920	

第8次氷見市総合計画策定に係る基礎調査 市民意識調査結果概要

この概要版は、第8次氷見市総合計画の策定にあたり、市民から幅広く意見を聞き、計画策定の基礎資料として活用することを目的として実施した調査の結果をまとめたものです。

I 調査の概要

- 1 調査対象 平成22年6月1日現在の住民基本台帳から無作為等間隔抽出した18歳以上3,000人
- 2 調査方法 郵送による配付と回収（無記名）
- 3 調査期間 平成22年6月から7月まで

4 回収結果

配付数	回収数	回収率
3,000人	1,869人	62.3%
(3,000人)	(1,743人)	(58.1%)

※括弧内は、前回調査の数値であり、調査対象及び調査方法は、本調査と同様です。

5 数値の表記

各集計結果に示した回答数の割合（%表記）は、原則として無回答者を含めた当該設問の全回答者数に対する割合を示しています。数値は小数第2位で四捨五入しているため、合計の数値が100%にならない場合があります。（1人に2以上の回答を求める設問では、合計が100%を超えます。）

6 前回調査との比較

一部の設問について、平成12年に実施した「氷見市民意識調査」（以下、「平成12年調査」と表記します。）との比較を行っています。

Ⅱ 今回の調査結果の特徴

1 総合計画において力を入れるべき施策について

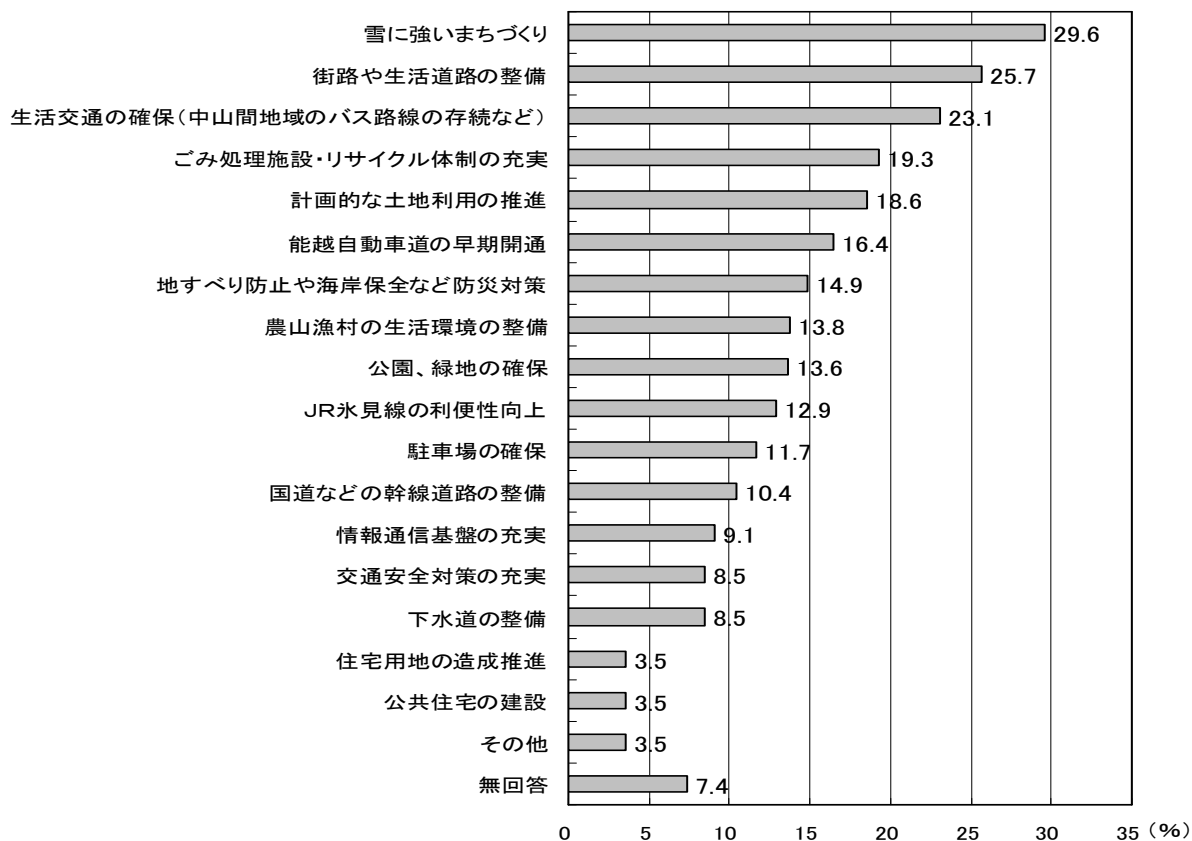
今後10年間のまちづくりの方向性について、次の分野ごとに考え方を尋ねた。

※いずれも3項目まで選択する設問（平成12年調査も同様）

(1) 社会基盤整備

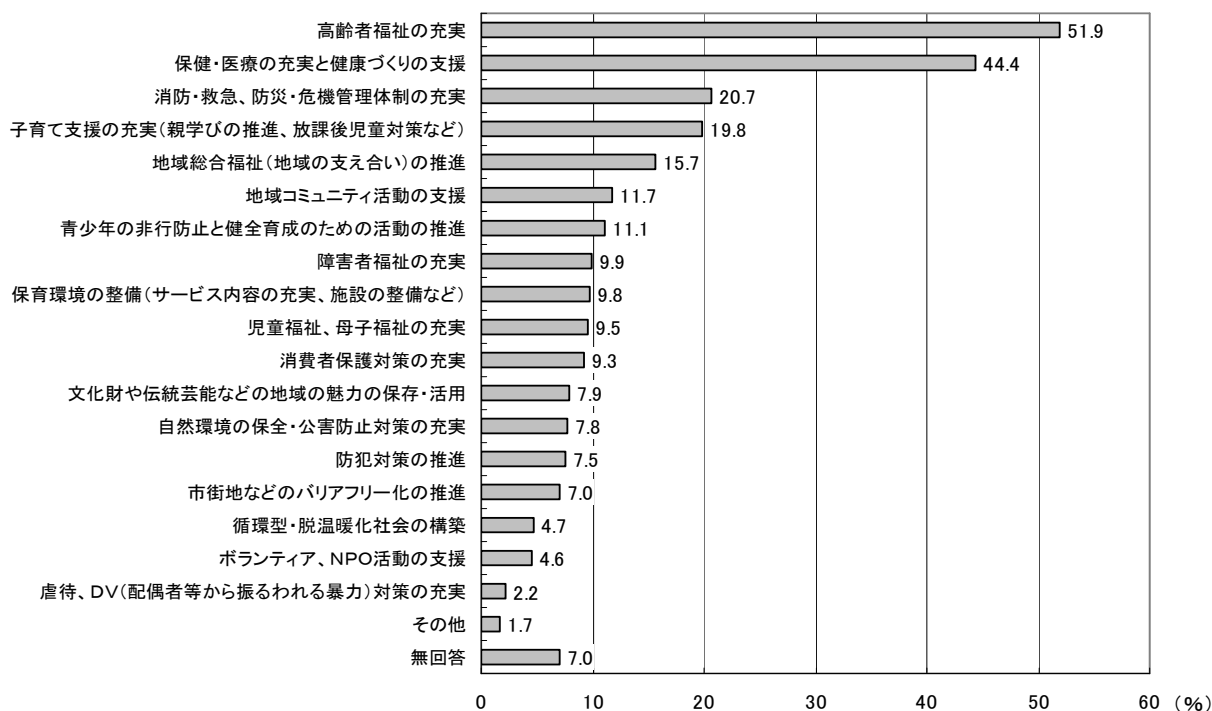
今回調査では、上位から「雪に強いまちづくり（29.6%）」、「街路や生活道路の整備（25.7%）」、「生活交通の確保（中山間地域のバス路線の存続など）（23.1%）」と身近な生活環境の充実に関するものの割合が高くなっている。平成12年調査で上位を占めていた「能越自動車道の早期開通（34.3%→16.4%）」、「国道などの幹線道路の整備（28.6%→10.4%）」は、それぞれ整備が進捗したことにより低下した。

新たな課題として、「限界集落対策」を望む回答もあった。



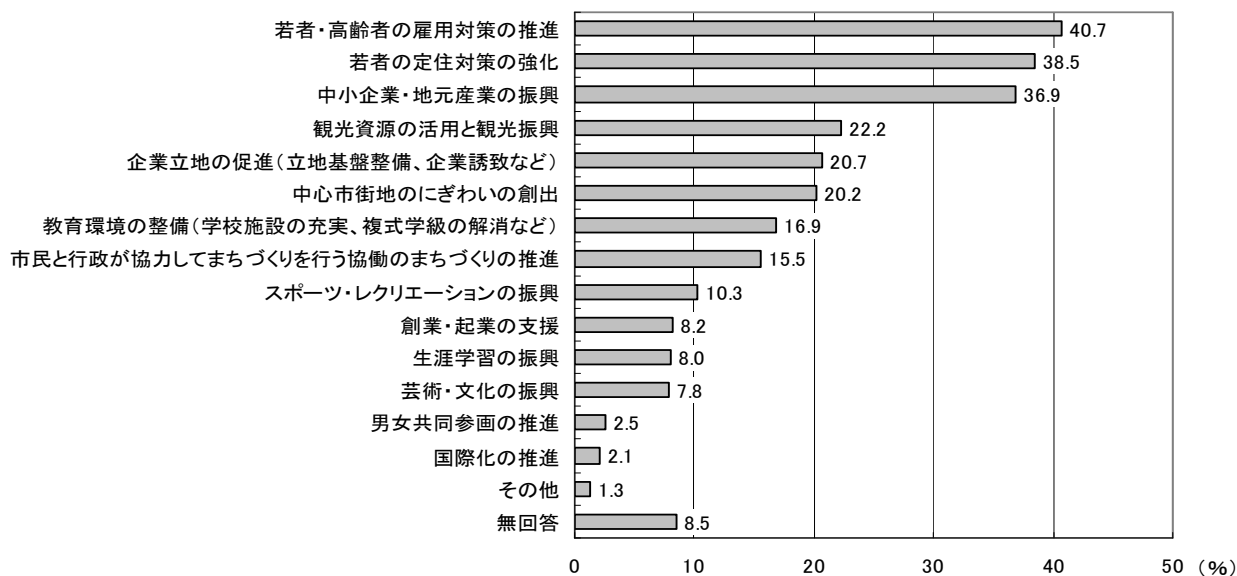
(2) 福祉・生活

今回調査では、平成12年調査と同じく上位から「高齢者福祉の充実（51.9%）」、「保健・医療の充実と健康づくりの支援（44.4%）」の順になっている。続いて、近年における能登半島地震やゲリラ豪雨等の災害の増加を背景に「消防・救急、防災・危機管理体制の充実（7.2%→20.7%）」を望む回答が多かった。



(3) 産業・教育・文化

今回調査では、平成12年調査と同じく上位から「若者・高齢者の雇用対策の推進（40.7%）」、「若者の定住対策の強化（38.5%）」、「中小企業・地元産業の振興（36.9%）」という順で、産業振興や雇用確保を望む結果は変わっていない。

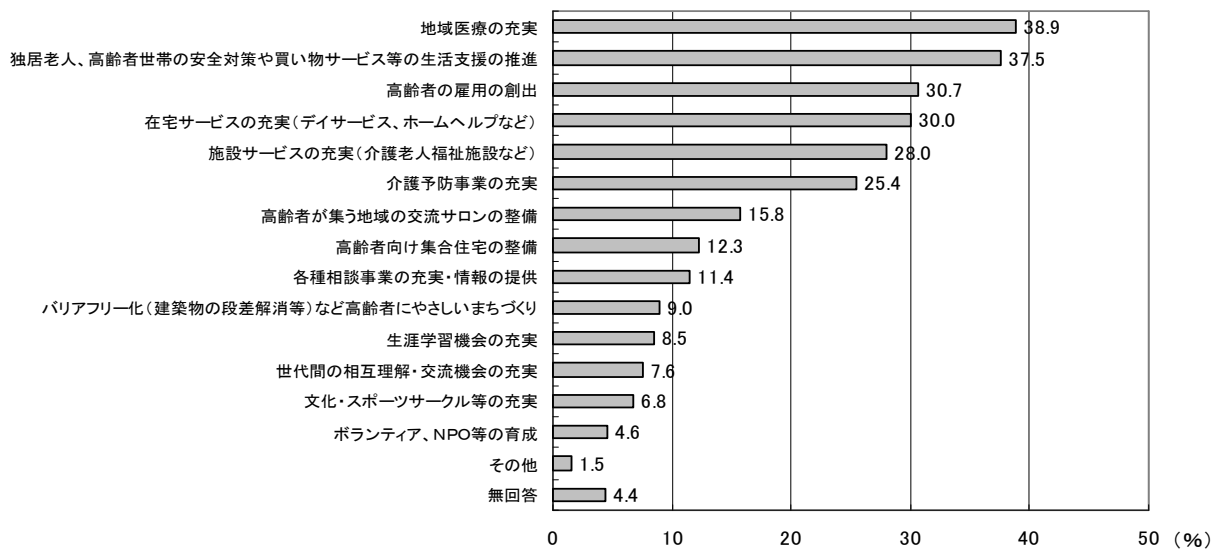


2 分野別の重点施策項目

各課題への対応策について項目ごとに考え方を尋ねた。

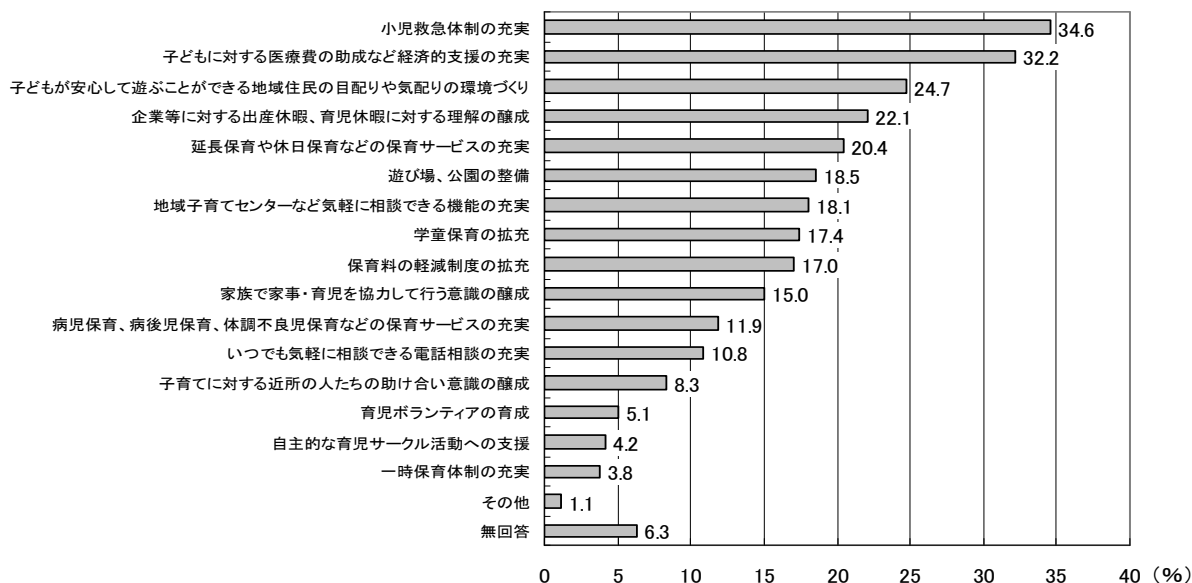
(1) 高齢化対策について（3項目まで選択する設問（平成12年調査も同様））

高齢化対策については、上位から「地域医療の充実（38.9%）」、「独居老人、高齢者世帯の安全対策や買い物サービス等の生活支援の推進（37.5%）」、「高齢者の雇用の創出（30.7%）」、「在宅サービスの充実（30.0%）」、「施設サービスの充実（28.0%）」、「介護予防事業の充実（25.4%）」の順になっており、日常生活を支える保健・福祉・医療の充実とともに、元気な高齢者の活用も望まれている。



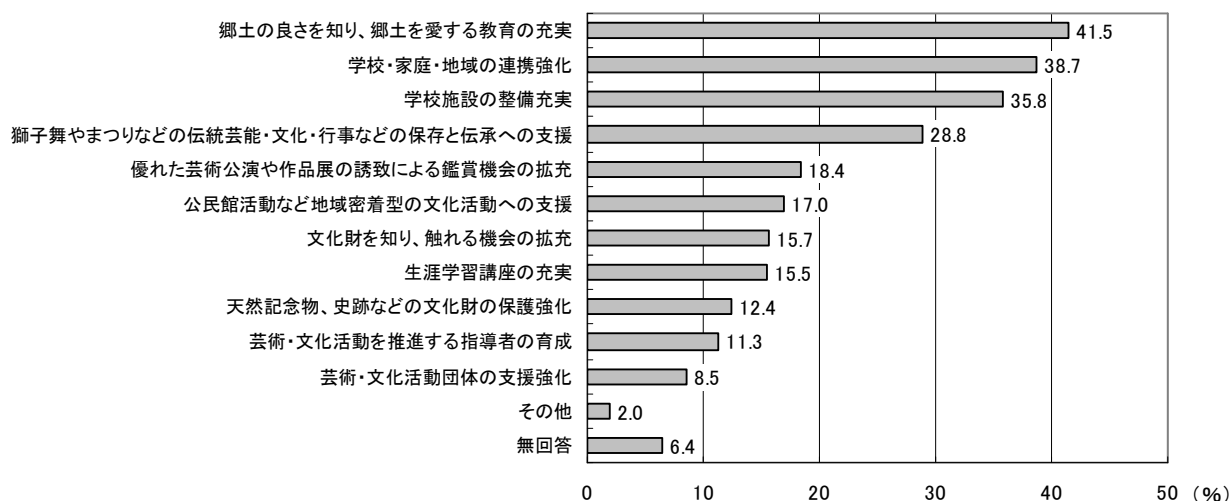
(2) 少子化対策について（3項目まで選択する設問（平成12年調査も同様））

少子化対策については、「小児救急体制の充実（34.6%）」、「子どもに対する医療費の助成など経済的支援の充実（32.2%）」が上位を占め、子どもの医療体制の充実を求める意見が多かった。また、平成12年調査で最も割合が高かった「延長保育や休日保育などの保育サービスの充実（35.1%→20.4%）」は、保育サービスの充実が進んだことにより減少する一方で、「子どもが安心して遊ぶことができる地域住民の目配りや気配りの環境づくり（17.0%→24.7%）」、「企業等に対する出産休暇、育児休暇に対する理解の醸成（17.7%→22.1%）」といった、子育ては地域社会や企業等で支援するものであるとの意識に基づく回答が増加している。



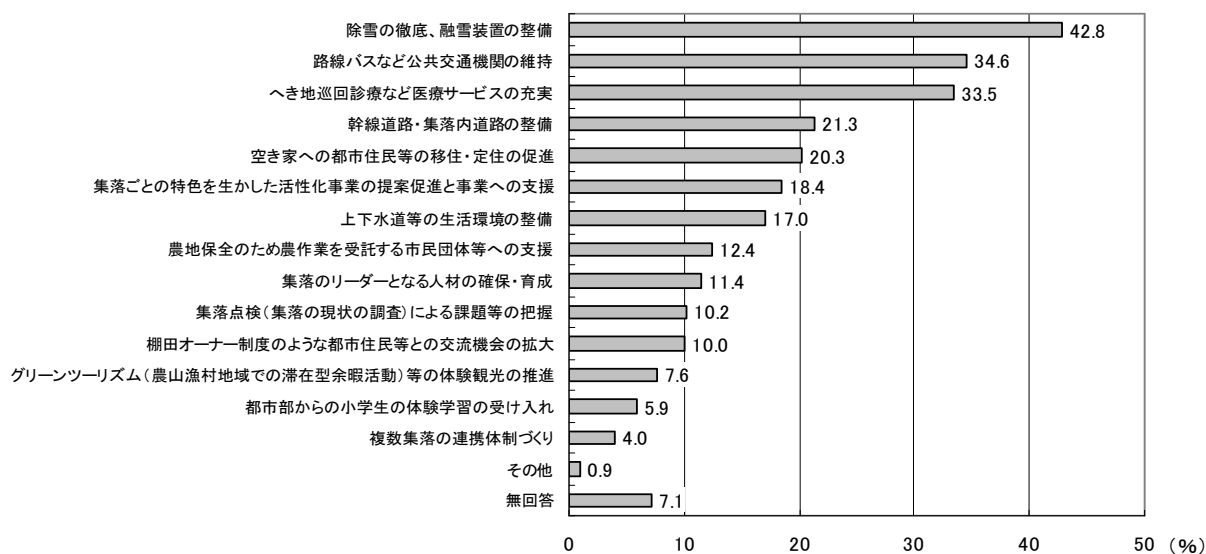
(3) 教育、文化の振興について（3項目まで選択する設問（平成12年調査も同様））

教育、文化の振興については、上位から「郷土の良さを知り、郷土を愛する教育の充実（41.5%）」、「学校・家庭・地域の連携強化（38.7%）」となっており、愛郷心の醸成や地域に根ざした教育が求められている。また、平成12年調査と比較して「学校施設の整備充実（20.8%→35.8%）」が大きく伸びたほか、「獅子舞やまつりなどの伝統芸能・文化・行事などの保存と伝承への支援（31.5%→28.8%）」も根強い。



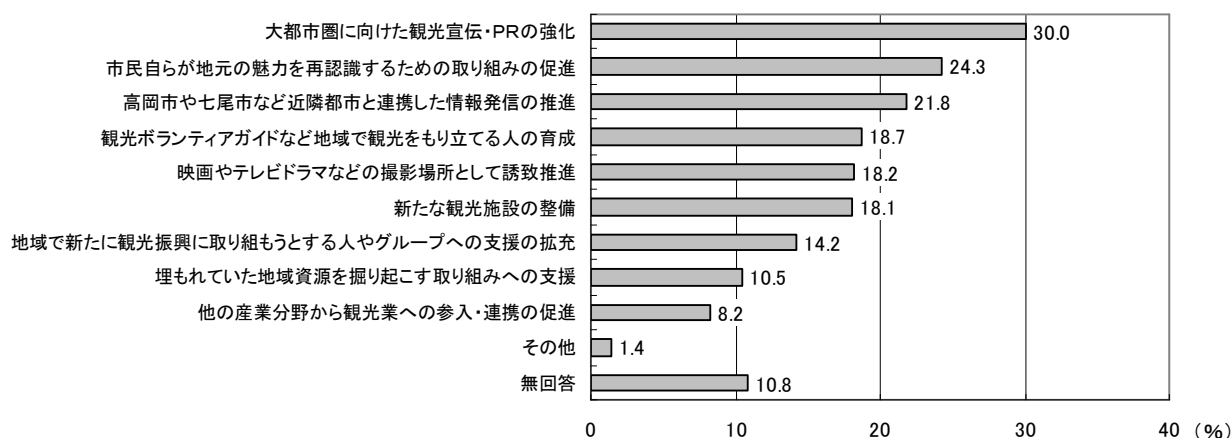
(4) 中山間地活性化対策について（3項目まで選択する設問（平成12年調査も同様））

中山間地活性化対策については、平成12年調査で1位だった「幹線道路・集落内道路の整備（34.9%→21.3%）」が大幅に減少する一方、「へき地巡回診療など医療サービスの充実（17.1→33.5%）」、「路線バスなど公共交通機関の維持（23.1%→34.6%）」、「除雪の徹底、融雪装置の整備（30.4%→42.8%）」、「集落ごとの特色を生かした活性化事業の提案促進と事業への支援（12.4%→18.4%）」が増加している。



(5) 観光振興について（2項目まで選択する設問（平成12年調査も同様））

平成12年調査は観光に対するイメージを問うものであったが、今回は、具体的な施策について回答を求めたところ、上位から「大都市圏に向けた観光宣伝・PRの強化（30.0%）」、「市民自らが地元の魅力を再認識するための取り組みの促進（24.3%）」、「近隣都市と連携した情報発信の推進（21.8%）」の順となっており、北陸新幹線開業を控え、地域資源の活用や広域観光の推進を重視する結果となった。



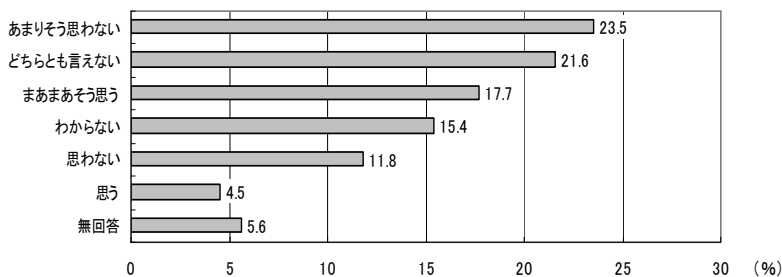
3 協働のまちづくりについて

今回の調査では、「協働のまちづくり」についての項目を新たに設け考え方を尋ねた。

「協働のまちづくり」が行われているかとの問いについては「思う」、「まあまあ思う」という肯定的な回答は合わせて22.2%という結果であったものの、市民、企業、行政がそれぞれ担うべき事項についての問いには、市民が主体となることとしては「ごみの減量・リサイクル（41.6%）」、「まちの美化・緑化（30.9%）」が、企業が主体となることとしては「産業振興（38.3%）」、「ごみの減量・リサイクル（32.9%）」が、行政が主体となることとしては「高齢者の支援（43.9%）」、「子育て支援（34.1%）」が上位を占めるなど、市民が考える3者の役割の違いが明らかとなった。

また、「協働のまちづくり」を推進していくために何が必要であるかの問いには「市民と行政の交流や意見交換の機会の拡大（27.7%）」、「市政の情報提供の充実（23.6%）」が必要であると続き、市民が市政に触れる機会の増大が望まれている。

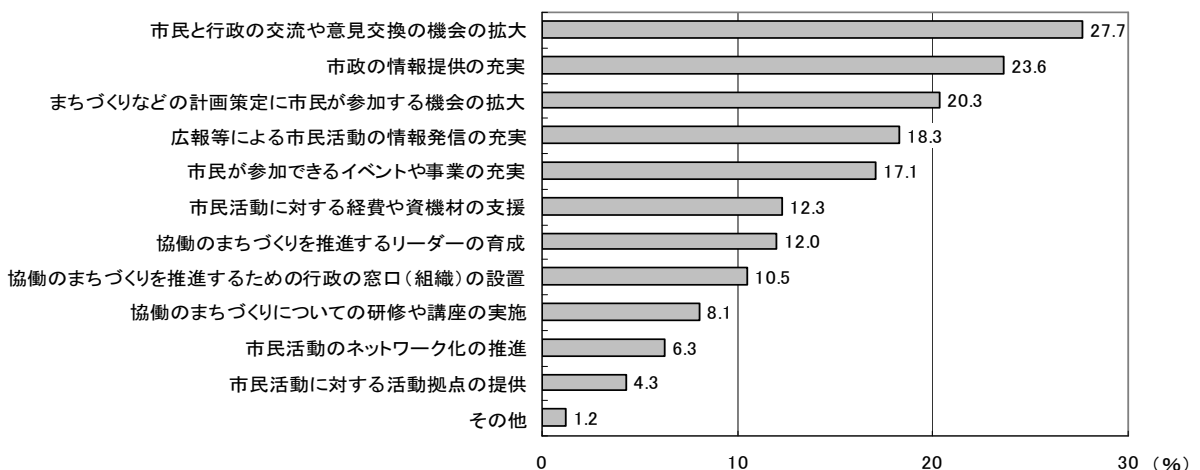
(1) 市民、企業、行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思いますか。（1項目のみ選択する設問）



(2) 市民、企業、行政が担うべき役割は何だと思えますか。（3項目まで選択する設問。括弧内は%）

順位	市民	企業	行政
1	ごみの減量・リサイクル (41.6)	産業振興 (38.3)	高齢者の支援 (43.9)
2	まちの美化・緑化 (30.9)	ごみの減量・リサイクル (32.9)	子育て支援 (34.1)
3	高齢者の支援 (28.3)	自然保護・環境保全 (27.1)	産業振興 (22.0)
4	健康づくり (26.9)	子育て支援 (19.8)	自然保護・環境保全 (19.7)
5	防犯活動 (21.9)	まちの美化・緑化 (15.6)	防災活動 (19.5)

(3) 「協働のまちづくり」を推進するには、何が必要だと思えますか。（2項目まで選択する設問）



平成22年12月

氷見市企画広報室

企画調整担当 TEL74-8011

[記者会見資料]

福祉課

上庄保育園の竣工式について

安心こども基金の補助を受けて社会福祉法人ジェイエイ氷見みどり会が氷見市泉地内で建設を進めていた上庄保育園が完成し、次のとおり竣工式が行われます。

記

- 1 日 時 平成22年12月20日（月）午前11時
- 2 場 所 氷見市泉地内
- 3 上庄保育園（新園舎）の概要 別紙のとおり

問い合わせ先

福祉課保育サービス担当 野村

74-8116

上庄保育園（新園舎）の概要

1. 施設名 上庄保育園
2. 施工主体 社会福祉法人ジェイエイ氷見みどり会
3. 建設場所 氷見市泉355番地1（別紙地図参照）
4. 施設整備資金

◇整備費内訳

建設主体工事費	208,104,000円
付帯設備工事費	12,396,000円
設計監理費	6,615,000円
初度備品費	12,885,000円

合 計 240,000,000円

◇財源内訳

県・市補助金	188,859,000円
福祉医療機構借入	44,600,000円
J A氷見市借入	4,241,000円
自己資金	2,300,000円

合 計 240,000,000円

5. 工事期間

(1) 着工年月日 平成22年6月1日

(2) 竣工年月日 平成22年12月15日

※施設利用開始予定年月日 平成23年1月1日

6. 施設規模及び構造の新旧比較

	新	旧
(1) 定 員	110名	90名
(2) 敷地面積	3,443㎡	2,624㎡
(3) 構 造	木造平屋	鉄骨木造平屋
(4) 建築面積	912.45㎡	684.73㎡
(5) 職員数	18名	12名

7. 特別保育の実施

- ・早朝保育、延長保育（午前7時～午後7時）
- ・土曜全日保育
- ・一時保育
- ・子育て支援事業

平成22年12月～平成23年1月の主な行事予定

12月

日	曜	行 事 名	資料ページ	時間	開 催 場 所	担当課
11	土	北陸三県統一 年末の交通安全県民運動(～20日)	9	10:00	市内一円	市 民 課
20	月	上庄保育園の竣工式	5	11:00	泉地内	福 祉 課
27	月	満百歳のお祝い	1 1	10:30	ほのぼの苑	福 祉 課
28	火	執務納め式	—	16:00	市役所5階	総 務 課
29	水	平成22年歳末特別警戒(～31日)	1 2	19:00	市内一円	消 防 本 部

1月

日	曜	行 事 名	資料ページ	時間	開 催 場 所	担当課
4	火	初セリ	—	5:45	氷見漁港魚市場	水産漁港課
		執務始め式	—	8:40	市役所 5 階	総 務 課
		平成23年消防出初式	1 3	10:00	氷見市民会館	消 防 本 部
6	木	定例記者会見	—	13:00	氷見市役所 401会議室	企画広報室
9	日	平成23年「新成人のつどい」	—	10:00	ふれあいスポーツ センター	生涯学習課

平成22年12月氷見市議会定例会会期日程

(平成22年11月19日開催 議会運営委員会で決定)

日次	月日	曜日	行事	内容	摘要
	12月7日	火	全員協議会	午前10時より第2・第3委員会室で	
第1日	8日	水	本会議	提案理由の説明	
2	9日	木	休会	議案調査のため	
3	10日	金	休会	議案調査のため	
4	11日	土	休会	休日のため	
5	12日	日	休会	休日のため	
6	13日	月	本会議	一般質問	
7	14日	火	本会議	一般質問、議案質疑、委員会付託	
8	15日	水	委員会	産業建設委員会	
9	16日	木	委員会	民生病院委員会	
10	17日	金	委員会	総務文教委員会	
11	18日	土	休会	休日のため	
12	19日	日	休会	休日のため	
13	20日	月	休会	議事の都合のため	
14	21日	火	本会議	委員長報告、討論、採決	会期日限

備考 議会運営委員会はその都度開催する。

北陸三県統一 年末の交通安全県民運動について

北陸三県統一 年末の交通安全県民運動が下記のとおり実施されます。

記

1 運動の目的

年末は、降雪・積雪等により道路環境が悪化するほか、飲酒の機会が多くなり、気ぜわしさも加わって、交通事故の多発する傾向にある。このため、交通ルールの遵守とマナー向上を呼びかけることにより、県民の交通安全意識を高め、交通事故の防止を図る。

2 期間

12月11日（土）から12月20日（月）までの間

3 スローガン

ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路

4 重点

- (1) 飲酒運転の根絶
- (2) 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- (3) 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

5 特別デー

- 12月11日（土） 夕暮れ時と夜間の交通事故の防止呼びかけの日
- 12月15日（水） シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日
- 12月18日（水） 飲酒運転根絶の日

6 県民運動期間中の特別行事

別紙のとおり

問い合わせ先
市民課交通防犯担当 柴田
Tel 7 4 - 8 0 6 8

北陸三県統一 平成22年 年末の交通安全県民運動期間中の特別行事計画

スローガン・「ゆっくり走ろう 雪のふる里 北陸路」 期間・12月11日(土)～12月20日(月)

重点 ◎飲酒運転の根絶 ◎夕暮れと夜間の交通事故防止 ◎全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

夕暮れ時と夜間の交通事故防止呼びかけの日(12/11)、シートベルト・チャイルドシート着用徹底の日(12/15)、飲酒運転根絶の日(12/18)

番号	名称	日時	実施場所	実施内容	参加機関	備考
1	年忘れ お楽しみ 交通安全教室	12月13日 (月) 10:30～	マヤ保育園	シグナルリーダーとびよん太くんの寸劇やクイズ、ゲームなどで、園児が交通安全を楽しく学ぶもの。	マヤ保育園 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
2	高齢者交通安全教室	12月14日 (火) 13:30～	十三谷研修館	地区の高齢者を一堂に集めて、交通事故の実態、安全確認の重要性、反射材の有効性などを理解して貰うため、交通安全教室を開催するもの。	下十二町老人クラブ 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
3	自転車一斉街頭指導	12月15日 (水) 7:30～	市内 各中学・高校 付近	通勤・通学時間帯に市内全中学・高校付近の主要交差点で集中監視し、特に自転車利用者の法令遵守とマナー向上を図り、自転車の安全利用を推進するもの。	市内全中学校6校・高校2校 水見市交通指導員連絡会 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
4	シートベルト・チャイルドシート着用キャンペーン	12月15日 (水) 10:00～	島尾 自治公民館前	交通安全協会宮田支部婦人部が中心となり、一般ドライバーに、チラシや手作りマスコット等を配布し、飲酒運転の根絶を呼び掛けるもの。	水見市交通安全協会宮田支部婦人部 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
5	交通安全街頭キャンペーン	12月16日 (木) 10:00～	万尾地内 堀川自動車前	一般通行車両に対して、手作りマスコットと啓発用チラシ等を配付し、交通安全を呼びかけるもの。	水見市交通安全協会 十二町支部 十二町保育園 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
6	高齢者交通安全教室	12月17日 (金) 13:30～	ケアハウス水見	夕暮れ時から夜にかけての高齢者の交通事故が多いことから、職員・入所者・数田地区の高齢者に対して、寸劇をまじえた交通安全教室を行うとともに反射材等を配付し、交通事故防止を呼び掛けるもの。	ケアハウス水見 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
7	飲酒運転やめさせナイト作戦	12月17日 (金) 19:00～	JR水見駅周辺の 飲食店	飲食店で、従業員をはじめ飲食客を対象として、飲酒運転の根絶と周辺路上の迷惑駐車車両のクリーン化を呼びかけるもの。	市交通指導員連絡会 市地域交通安全活動推進委員 市交通安全母の会 水見警察署 市交通安全協会 水見市・市交通安全対策協議会	
8	交通安全街頭キャンペーン	12月19日 (日) 10:00～	大野地内 国道415号 「サンクス」付近	一般通行車両に対して、手作りマスコットと啓発用チラシ等を配付し、交通安全を呼びかけるもの。	水見市交通安全協会 上庄支部 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	
9	反射材ペタン作戦	12月20日 (月) 11:00～	金沢医科大学 水見市民病院	薄暮時から夜にかけての、高齢者の交通事故が多いことから、交通事故防止対策として、金沢医科大学水見市民病院に来院する高齢者の靴に、反射シール(ヒカピカシール)を直接貼付すると同時にチラシ・オリジナルティッシュを配付し、交通事故防止を呼び掛けるもの。	水見市老人クラブ連合会 水見警察署 水見市交通安全協会 水見市・水見市交通安全対策協議会	

満 百 歳 の お 祝 い に つ い て

満百歳を迎えられる方を市長がお祝いします。

1 対 象 者

(1) 氏 名 田子 きよ

生年月日 明治 43 年 12 月 25 日

住 所 氷見市加納 495 番地 ほのぼの苑

日 時 平成 22 年 12 月 27 日 (月) 午前 10 時 30 分

場 所 氷見市加納 495 番地 (ほのぼの苑)

2 贈 呈 品 富山県知事より 祝状及び祝金 3 万円と額
氷見市長より 祝状及び祝金 3 万円と花束

3 氷見市内に在住の百歳以上の高齢者 (平成 22 年 11 月 29 日現在)

105 歳 2 名

104 歳 1 名

103 歳 3 名

102 歳 2 名

101 歳 7 名

100 歳 11 名

計 26 名 (男 5 名、女 21 名)

問い合わせ先

福祉課 長寿・生活支援担当 赤倉

電話 74-8111

【記者会見資料】

消防本部警防課

平成22年歳末特別警戒の実施について

目的 何かとあわただしい歳末を迎えるにあたり、市民への防火意識の高揚と火災の未然防止を図ることを目的とする。

記

1. 実施日時

期 間	時 間
12月29日(水)	19時～23時
12月30日(木)	19時～23時
12月31日(金)	19時～22時

2. サイレン吹鳴

12月29日午前7時と31日午後9時の2回、1分間吹鳴する。

ただし、火災予防広報文は期間中、毎日午前7時と午後9時の2回放送いたします。

3. 本部巡視日程

29日(水) 市内(20分団) 市長、団長、副団長、消防長

(事務担当 消防本部警防課 横山、森)

74-8300

【記者会見資料】

消防本部警防課

平成23年消防出初式について

目的 新しい年を迎え、はしご登りや消防車両による一斉放水を行い、火災予防の啓蒙と消防の意気を示すことを目的とする。

記

1. 日 時 平成23年1月4日（火）午前10時00分
（午前8時30分 召集サイレン1分間吹鳴）
2. 場 所 氷見市民会館（雨天決行）
3. 参加団体及び人員 消 防 団
婦人消防隊連合会
消防本部・署
総参加予定人員 400名
4. 式 典 式 次 第
（1）開 会
（2）人員報告
（3）年頭のことば
（4）団長訓示
（5）来賓祝辞
（6）閉 会
5. アトラクション はしご登り・木遣り
6. 観 閲 分列行進
車両部隊 分団車両20台、本部車両4台
徒歩部隊 消防団員200名、婦人消防隊連合会100名
7. 一 斉 放 水 市民会館裏の湊川右岸にて（車両22台）
8. 防 火 広 報

（事務担当 消防本部警防課 横山、森）

74-8300